

エコアクション21 環境経営レポート

(2020年1月 ～ 2020年12月)



発行：2021年1月29日



緑造園興業株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
2. 認証・登録の対象範囲	
(1) 登録事業所	
(2) レポート対象期間及び発行日	
(3) 実施体制図	2
(4) 役割・責任・権限	
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価並びに、次年度の環境 経営目標及び環境経営計画	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	12
10. 具体的取組内容	13

【取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

緑造園興業株式会社
代表取締役 植原成典

(2) 所在地

本 社	香川県高松市林町1073-3	TEL：087-869-4128
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426	TEL：087-899-1128
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2	TEL：0879-52-5340
資材置場	1.香川県さぬき市寒川町石田東1497 2.香川県木田郡三木町井戸407-1 3.香川県木田郡三木町井戸355-1	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	開発部 部長 新川孝雄	
担当者	総務部 山下美和	TEL：087-869-4128

(4) 事業内容

造園工事業	土木工事業	とび・土工工事業
石工事業	舗装工事業	水道施設工事業
産業廃棄物収集運搬業許可（自社工事物件のみ） （許可番号 03703131469・有効期限 2021年12月17日）		

(5) 事業の規模

売上高	4億1,524万円
工事等の件数	561件
従業員	45名（うちパート17名）（2020年12月21日時点）

延べ面積

	本社	東讃営業所	さぬき営業所	資材置場-1	資材置場-2	資材置場-3
従業員	21名	23名	1名	無人	無人	無人
延べ床面積	20㎡	215㎡	13㎡	4,179㎡	935㎡	843㎡

(6) 事業年度

1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

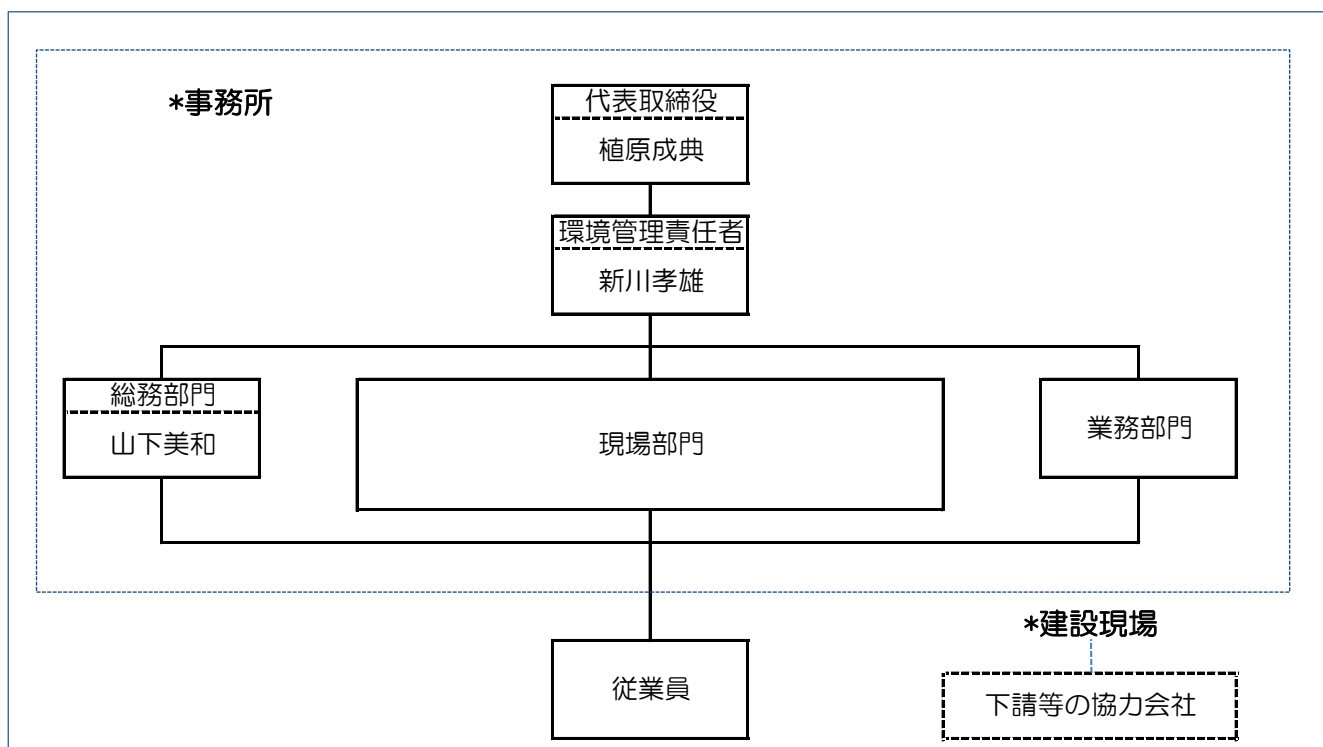
(1) 登録事業所

本 社	香川県高松市林町1073-3
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2
資材置場	1.香川県さぬき市寒川町石田東1497 2.香川県木田郡三木町井戸407-1 3.香川県木田郡三木町井戸355-1
関連事業所	無

(2) レポートの対象期間

2020年1月～2020年12月
発行日 2021年1月29日

(3) 実施体制図



(4) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 全従業員に対する教育・訓練の実施 - 環境経営目標、環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 緊急事態への対応マニュアルの承認 - 環境経営レポートを確認し、承認 - 環境関連法規等取りまとめ表の承認 - 取組に必要な手順書の承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境経営目標、環境経営計画書を作成 - 環境経営の取組結果を代表者に報告 - 環境経営レポートの作成 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態への対応マニュアル作成 - 取組に必要な手順書の作成
部門長	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加

3. 環境経営方針

緑造園興業株式会社 環境経営方針

基本理念

当社は、緑のある美しい豊かな環境を受け継ぎ次代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である造園土木業を通じて、環境保全活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質量の適正使用・管理と削減
- ⑤ 環境配慮への取組
- ⑥ 地域社会への貢献

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境経営方針は、全ての従業員に周知し、環境経営レポートを広く一般に公表します。

制定日：2014年7月22日
改訂日：2019年1月27日

代表取締役 植原 成典

4. 環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648 0.5%削減	106,112 1%削減	105,576 1.5%削減
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	69,219 0.5%削減	68,871 1%削減	68,523 1.5%削減
水総使用量の削減	m3	299	293 2%削減	287 4%削減	281 6%削減
化学物質使用量の削減	kg	22	21 5%削減	20 10%削減	19 15%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2017年～2019年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO2/kWh）を使用した。

（四国電力発表2018年度実績に基づく）

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

【短期目的・目標】

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648
エネルギー使用量の削減	電気使用量	12,741	12,677
	ガソリン使用量	16,899	16,815
	軽油使用量	23,349	23,232
	灯油使用量	248	247
	LPガス使用量	131	130
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	69,219
水総使用量の削減	m3	299	293
化学物質使用量の削減	kg	22	21
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度
電気使用量の削減	kWh	12,741	12,677
ガソリン使用量の削減	L	6,384	6,352
LPガス使用量の削減	kg	131	130
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	463	461
水総使用量の削減	m3	251	246
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度
ガソリン使用量の削減	L	10,515	10,463
軽油使用量の削減	L	23,349	23,232
灯油使用量の削減	L	248	247
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,104	68,758
水総使用量の削減	m3	48	47
化学物質使用量の削減	kg	22	21
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100

5. 環境経営計画

○事務所

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施 ②冷房使用時サーキュレーターや扇風機の併用 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃）	山下美和
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③停車時のアイドリングストップの徹底	淵崎真紀
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化	山下美和
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	淵崎真紀
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③使用済み切手の回収	山下美和
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和

○現場

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③車の乗り合わせ ④停車時のアイドリングストップの徹底	新川孝雄
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	新川孝雄
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄

6. 環境経営目標の実績

【短期目的・目標・実績】

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度	実績 2020年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648	99,251	7%削減	○
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	12,741	12,677	4%増加	×
	ガソリン使用量	L	16,899	16,815	17%削減	○
	軽油使用量	L	23,349	23,232	1%削減	○
	灯油使用量	L	248	259	5%増加	×
	LPガス使用量	kg	131	130	0	○
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	69,219	103,537	50%増加	×
水総使用量の削減	m3	299	293	264	10%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	21	24	14%増加	×
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度	実績 2020年度	目標対比 (%)	評価
電気使用量の削減	kWh	12,741	12,677	13,200	4%増加	×
ガソリン使用量の削減	L	6,384	6,352	4,097	35%削減	○
LPガス使用量の削減	kg	131	130	0		○
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	463	461	447	3%削減	○
水総使用量の削減	m3	251	246	258	5%増加	×
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度	実績 2020年度	目標対比 (%)	評価
ガソリン使用量の削減	kWh	10,515	10,463	9,848	6%削減	○
軽油使用量の削減	L	23,349	23,232	22,979	1%削減	○
灯油使用量の削減	kg	248	247	259	5%増加	×
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,104	68,758	103,090	50%増加	×
水総使用量の削減	m3	48	47	6	87%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	21	24	14%増加	×
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○

今年は新型コロナウイルス感染予防対策として室内の換気を行いながら冷暖房を使用したり、新しく空気清浄機、加湿器を設置したため、電気使用量が増え、目標を達成することができなかった。

低燃費・低排出ガス認定車を導入し、社用車に新たにドライブレコーダーを追加設置したことで、運転時の急発進・急加速・急停止の防止となり、ガソリン使用量及び二酸化炭素排出量の削減になった。

産業廃棄物の増加については、外構工事の仕事が増えるなど受注内容の変化が大きく関係し、目標を達成することができなかった。

また、防除の仕事が増え化学薬剤使用量が前年度より増加したが、適切な管理はできている。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○事務所

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

		具体的な取組	実施責任者	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施	山下美和	—	○	○	—	○
		②冷房時にサーキュレーターや扇風機の併用		—	○	○	—	○
		③適正温度の維持（夏28℃冬20℃）		○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検	淵崎真紀	○	○	○	○	○
		②余分な荷物を乗せない		○	○	○	○	○
		③停車時のアイドリングストップの徹底		○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底	山下美和	○	○	○	○	○
		②ミスプリント防止のため事前確認の徹底		○	○	○	○	○
		③文書電子化		○	○	○	○	○
水使用量	節水	①ストップノズルの使用	淵崎真紀	○	○	○	○	○
		②節水啓発ポスターの掲示		○	○	○	○	○
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収	山下美和	○	○	○	○	○
		②ペットボトルキャップの回収		○	○	○	○	○
		③使用済み切手の回収		○	○	○	○	○
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年も緑のカーテンを育てたくさんの葉や実が2階の窓まで茂り、室温の上昇を抑えることができた。 次年度も引き続き緑のカーテンの実施で室内温度の上昇を抑え、サーキュレーターや扇風機を併用し冷気を循環させるなど、工夫しながら消費電力削減につなげていきたい。さらに、冬季の暖房時もサーキュレーターの使用を習慣づけるようにしたい。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 コピー時の両面印刷はもちろん、裏紙再利用は社員全員に浸透し、ミスプリント防止のため印刷前のレイアウトや校正の事前確認を徹底して行いコピー用紙の削減となった。 会議・打合せ資料の紙資料配布低減に取り組み、文書をPDFで保存するなど文書電子化に努めている。 次年度より、現場での打合せ時に図面・見積書・写真など必要書類をデータで確認できるよう、社員全員の社用携帯をスマートフォンに交換したり、タブレットを取り入れる。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年は猛暑のため花の水やりなど水使用量は目標より少し増加した。ストップノズル使用で無駄づかいをなくし、節水啓発ポスターの掲示で社員全員の意識を高め取り組めた。 次年度もストップノズルの使用を引き続き継続し、節水に努めていきたい。
リサイクル	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 ゴミの分別、リサイクル化への仕組みが浸透し、昨年以上に資源物のリサイクル化ができたように思う。 新たに雑紙類のリサイクルを取り入れ、引き続き使用済みインクカートリッジ回収、ダンボール・古紙のリサイクル、使用済み切手・ペットボトルキャップの回収等を実施した。 次年度も、資源のリサイクル化を徹底的にし、資源の無駄づかいを減らしていきたい。
地域社会への貢献	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 毎月、事務所や倉庫周辺道路の草刈りや側溝の清掃を行い、事務所入口には季節の花を植え環境美化活動にも取り組んだ。「ライオンズ奉仕活動」等のボランティア活動への参加や、1月に行われた地域の伝統行事に協力した。 今年は新型コロナウイルス感染症拡大のため、イベントの中止が多かったが、次年度は様々な社会貢献活動に取り組み、地域行事の参加、協力など、地元に根付いた活動に積極的に取り組んでいきたい。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○現場

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

		具体的な取組	実施責任者	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③車の乗り合わせ ④停車時のアイドリングストップの徹底	新川孝雄	○	○	○	○	○
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	新川孝雄	○	○	○	○	○
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄	○	○	○	○	○
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない ー：該当なし

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 アイドリングストップの徹底など会社全体の取り組みが定着している。また、現場での重機使用時間の短縮の実施に取り組んでいる。 今後も継続して維持し、重機使用時間の短縮など、更なる消費燃料削減に努める。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 廃棄物の分別は出来ているので、引き続き継続する。 社員全員で対策を考え、廃棄物を減らすように努力する。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 地下水の使用量が増加したため、上水の水使用量が前年度より削減できた。 次年度も可能な限り地下水を使用するとともに、上水使用時の節水をこころがける。
化学物質	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年度は防除の仕事が増え化学薬剤使用量が前年度より増加し、目標を達成することができなかった。 今後も安全性の高いBT剤の使用を勧める。
剪定・除草ゴミの再資源化（組織本来の取組）	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 引き続きリサイクル業者への持ち込みを継続した。 堆肥化及び堆肥の地域住民への配布を検討し、推進していく。

7. 次年度環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648 0.5%削減	106,112 1%削減	105,576 1.5%削減
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	69,219 0.5%削減	68,871 1%削減	68,523 1.5%削減
水総使用量の削減	m3	299	293 2%削減	287 4%削減	281 6%削減
化学物質使用量の削減	kg	22	21 5%削減	20 10%削減	19 15%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2017年～2019年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.528 (kg-CO2/kWh) を使用した。

(四国電力発表2018年度実績に基づく)

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

【短期目的・目標】

〇取組期間 2021年1月 ～ 2021年12月

〇全体

目的	単位	※1 基準	目標 2021年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,112
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	12,741
	ガソリン使用量	L	16,899
	軽油使用量	L	23,349
	灯油使用量	L	248
	LPガス使用量	kg	131
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	68,871
水総使用量の削減	m3	299	287
化学物質使用量の削減	kg	22	20
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

〇事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2021年度
電気使用量の削減	kWh	12,741	12,614
ガソリン使用量の削減	L	6,384	6,320
LPガス使用量の削減	kg	131	130
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	463	458
水総使用量の削減	m3	251	241
地域社会への貢献	回	12	12

〇建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2021年度
ガソリン使用量の削減	L	10,515	10,410
軽油使用量の削減	L	23,349	23,116
灯油使用量の削減	L	248	246
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,104	68,413
水総使用量の削減	m3	48	46
化学物質使用量の削減	kg	22	20
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100

7. 次年度環境経営計画

○事務所

○取組期間 2021年1月 ～ 2021年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施 ②冷房使用時サーキュレーターや扇風機の併用 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃）	山下美和
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③停車時のアイドリングストップの徹底	淵崎真紀
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化	山下美和
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	淵崎真紀
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③使用済み切手の回収	山下美和
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和

○現場

○取組期間 2021年1月 ～ 2021年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②重機使用時間短縮化の推進 ③車の乗り合わせ ④停車時のアイドリングストップの徹底	新川孝雄
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	新川孝雄
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討	新川孝雄

8. 環境法規制等遵守 チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守チェック 結果
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、処分	遵 守
	産業廃棄物の投棄禁止、焼却禁止	遵 守
	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの交付、保管	遵 守
リサイクル法	建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化努力	遵 守
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体、再資源化の促進、再生資源の使用	遵 守
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	遵 守
	下請負人に対する元請業者の指導	遵 守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵 守
家電リサイクル法	対象4品目の廃家電の適正処理	遵 守
小型家電リサイクル法	対象28品目の廃家電の適正処理	遵 守
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進	遵 守
大 気 汚 染		
オフロード法	特定特殊自動車使用者の責務、使用の制限	遵 守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の適切な設置と簡易点検の実施	遵 守
	フロン類の漏えい時の措置、機器廃棄時のフロン回収	遵 守
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	遵 守
騒 音 ・ 振 動		
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
水 質 汚 濁 （排 水）・土 壌 汚 染		
水質汚濁防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
下水道法	公共下水道への排水基準の遵守	遵 守
浄化槽法	浄化槽保守管理、定期検査	遵 守
	浄化槽からの廃棄物の排出	遵 守
PRTR法	第1種指定化学物質の適正管理	遵 守
農薬取締法	農薬の使用者の責務、使用規制	遵 守
そ の 他 関 連 法 令		
消防法（危政令）	火気の使用に関する規制	遵 守
労働安全衛生法	労働災害発生の防止	遵 守
	危険物及び有害物に関する規制	遵 守
	労働者就業に当たっての措置	遵 守
香川県環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守
高松市環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

当社は平成27年3月26日にエコアクション21認証・登録を受け、取組みをスタートした。

今年度は、コロナ禍の影響により業績は例年にくらべ悪化しており、深刻な状況が続いているが、引き続き感染防止対策を徹底して取り組んでいきたいと考えている。

今回の数値結果における廃棄物の増加については、受注内容の変化によるものとしてやむ得ないとする。

電気使用量増加については、新型コロナウイルス感染拡大防止として、夏期冬期ともエアコン稼働中に換気のため窓を全日数か所開放していたことや、空気清浄機及び加湿器の導入などが大きく影響していると思われる。

また、今回「令和2年度かがわ緑のカーテンコンテスト」に応募し、デザイン賞（特別賞）をいただいたことは、全社員にとって更なる意識向上にもつながる受賞であったと評価している。

次年度の環境経営目標は、現在、東讃営業所新社屋移転を計画しており、新社屋に移転後は環境負荷も大きく変わるので、それまでは現在策定している環境経営目標に取り組む。環境経営計画は、本業である剪定・除草ゴミの再資源化をさらに進め、堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討する。他の取り組みは継続する。環境経営方針、実施体制は現状のとおりとする。

今後においても、社員全員がエコアクション21の取組みを効率的に行えるようにし、管理レベルの向上を図り、環境との調和と環境負荷低減に努めていくよう努力していく。

10. 具体的取組内容

●消費電力量の削減にむけた取組●

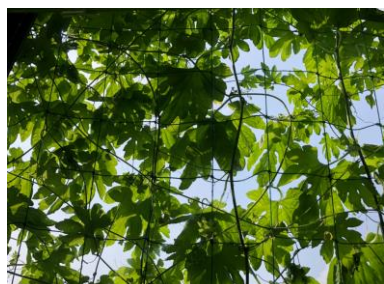
（緑のカーテン設置）

今年はゴーヤ、きゅうり、ミニかぼちゃ、フウセンカズラの緑のカーテンに挑戦した。たくさんの葉や実が2階の窓まで茂り、緑のカーテンができ見た目にも癒された。今年は新型コロナウイルス感染予防対策として、室内の換気を行いながら冷房を使用したためエアコンの設定温度を上げることはできなかったが、室内に入る夏の日差しや紫外線を遮ることで、室内へ伝わる熱を抑えることができた。収穫物はレシピと一緒に社員に配布し、家族にも喜んでもらった。

また「かがわ緑のカーテンコンテスト」の特別賞をいただき、香川県知事から表彰を受けたことで、社員ひとりひとりの環境意識向上にもつながった。



（植えつけ状況）



（事務所南側）



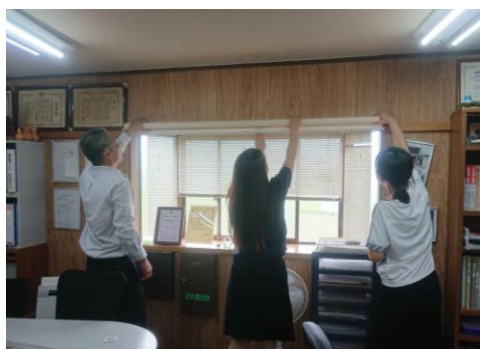
（収穫物&レシピ）



（賞状）

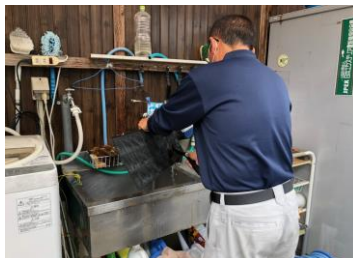
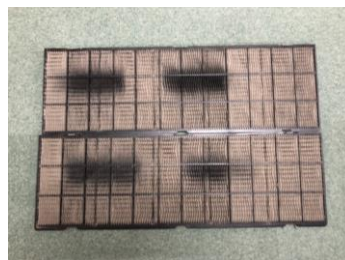
（ロールカーテン設置）

事務所西側の出窓にロールカーテンを取付けたことで、西側からの厳しい日差しを遮ることができ、室内の温度上昇を抑えることができた。



（エアコンフィルター清掃）

業務用エアコンの余分な消費電力を削減するため、定期的にフィルターの清掃を行っている。



●消費燃料の削減にむけた取組●

（重機・社用車購入）

長年使用していた重機・社用車を経年劣化のため廃車し、新たにバックフォー・ハイゼットトラックを購入した。今回、超低騒音・低燃費・低排出ガス認定車を導入することで、軽油・ガソリン使用量及び二酸化炭素排出量の削減につながった。



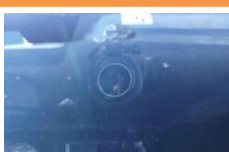
（コベルコ バックフォー）



（ダイハツ ハイゼットトラック）

（社用車ドライブレコーダー追加設置）

社用車に新たにドライブレコーダーを設置をした。運転時の急発進・急加速・急停止の防止になり、ガソリン使用量の削減につながった。また、安全運転の意識を高めるとともに、エコドライブの推進も行うことができた。今後もドライブレコーダーの追加設置を検討してる。



●環境に関する取組●

（充電式保冷温庫・製氷機購入）

真夏・真冬の過酷な現場作業を少しでも軽減するために、充電式バッテリーでどこでも保冷・保温が可能な保冷温庫と冷却用の氷を支給するために製氷機を購入した。保冷温庫は充電式バッテリーで稼働するため、電気費用の節約や二酸化炭素排出量の削減につながっている。



（新型コロナウイルス感染予防対策実施）

今年世界で大流行している新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、入口に注意喚起の掲示物を貼り、カウンター上に体温計を設置し、体調管理や拡散防止に努めている。また消毒液やマスク、除菌シートなどを社員に配布した。社内では、間口部換気や空間除菌のクレベリン、加湿空気清浄機、気化式加湿器を設置し、予防対策を実施している。



●地域貢献への取組●

（消防団員応援制度参加）

当社は、地域の防火・防災に努めている消防団員を応援するため、県消防協会の「消防団員応援制度」に参加し、優遇サービスを行っている。



（地域貢献活動・地域の行事への協力）

地域の伝統行事への協力など地域に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。



（大鏡力餅運搬競技大会協力）

（事務所周辺の清掃活動・美化活動）

周辺の道路脇や歩道の草刈り、側溝の清掃を定期的に行っている。また、事務所入口には季節の花を植え環境美化活動にも努めている。

